

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	総務課(総務・防災担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	根室市史編纂事業	事業番号	12545

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-9	歴史・芸術文化の振興
	施策目標	歴史や芸術文化などに親しみ歴史・文化資源を未来へ継承するまち	

2 事務事業の目的

目的	根室市制施行60周年(平成29年)記念事業等の一環として「新根室市史」を編纂し、根室市の歩みを振り返り、市民が地域に対する理解を深め、郷土愛を醸成する基盤とし、さらなる市民との協働のまちづくりと文化の向上に資することを目的とする。
成果	平成30年を目処として、市史の編纂を進め、これまでの歴史を振りかえる機会とするとともに、次代を担う世代へ歴史を継承し、今後の根室市の発展に繋げる。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	市史編纂方針の決定、年表作成、全体構成の検討、資料収集						
	28	全体構成の検討、資料収集、執筆						
	29	資料収集、執筆、編集作業						
	30	執筆、監修・編集、製本						
	31							
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		3,869	12,128	14,063	11,741		41,801
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		3,869	12,128	14,063	11,741		41,801
	人員(人工)		0.8	0.8	0.8	0.8		
職員費(人員×8,081千円)		6,465	6,465	6,465	6,465		25,860	
総事業費		10,334	18,593	20,528	18,206		67,661	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	市史編さん委員会の開催数	2回	-	-

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	市史を通じて、あらゆる世代が根室の歴史を再認識することにより、郷土愛の醸成が期待され、協働のまちづくりと文化の向上、発展につながる。
-------------------	--

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 根室市史については、昭和43年に発刊しているが、発刊以降の根室市の歴史を記述したものはない。今後の発展の礎として、これまでの歴史を後世に伝えるためにも新市史の編纂は必要であり、市民ニーズは高いと考えられる。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 正確な歴史認識、公正な立場から市史をまとめるためには、市が事業主体となり実施する必要がある。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 市史編纂における緊急性はない。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 他市の例を見ても、事業実施の手段として妥当である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 市が事業主体となり、また、その作成にあたっては、有識者より構成される「市史編さん委員会」を組織し、検討を加えるなどしており、公平性は高いと考えられる。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 昭和43年以降の歴史や新たな歴史資料等を踏まえて新市史を編纂することは、市民ニーズも高く、事業の有効性は高いと考えられる。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 着実な推進とともに、より多くの市民が触れることのできる方法・機会について検討を進められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 民間有識者を含めた市史編さん委員による委員会を適宜開催し、多くの意見と取り入れ編さん作業を進めたい。

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	総合文化会館(管理担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	総合文化会館整備事業	事業番号	11958

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-9	歴史・芸術文化の振興
	施策目標	歴史や芸術文化などに親しみ歴史・文化資源を未来へ継承するまち	

2 事務事業の目的

目的	市民がいつでも文化・芸術活動等、生涯学習施設の拠点として利用できる施設機能維持を図るため。
成果	開館後、23年が経過した施設ではあるが計画的な整備の成果により、文化・芸術活動等の振興や教養の向上を図るための生涯学習施設の拠点として市民の利活用が一層期待される。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	街路灯改修工事、小ホール舞台音響設備改修工事、多目的ホール床面改修工事、ワイヤレスマイクシステム改修工事、小ホール舞台吊物昇降インバーター更新工事の実施						
	28	館内電話設備更新工事、館内監視カメラユニット等取替工事、高圧ケーブル等取替工事、大・小ホール調光盤整備工事、大ホール舞台吊物昇降インバーター更新工事を実施予定						
	29	屋上アスファルト防水工事、南面外壁防水工事、大ホールカメラ設備改修工事を予定						
	30	自動ドア装置更新工事、視聴覚室ジュウタン張替工事、小ホールカメラ設備改修工事、大ホールスピーカー他改修工事を予定						
	31	小ホールスピーカー他改修工事、大道具庫搬入口シャッター更新工事を予定						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		19,505	9,060	143,306	23,016	23,016	217,903
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他	14,000					14,000
	一般財源		5,505	9,060	143,306	23,016	23,016	203,903
	人員(人工)		0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	
職員費(人員×8,081千円)		1,374	1,374	1,374	1,374	1,374	6,870	
総事業費		20,879	10,434	144,680	24,390	24,390	224,773	
維持管理	管理主体		根室市総合文化会館					
	運営方法		直営					
	維持管理費	施設維持費	55,522	57,045	62,128	62,128	62,128	298,951
		概算人件費	50,102	50,102	50,102	50,102	50,102	250,510
		合計/年	105,624	107,147	112,230	112,230	112,230	549,461

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	総合文化会館における大小ホール利用回数	99回	100回	100回
	総合文化会館の利用人数	126,929人	127,000人	127,000人
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	市民がいつでも文化・芸術活動等、生涯学習施設の拠点として今後も引き続き利用できる。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<p>■かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない</p> <p>年間10万人以上の利用者がおり、生涯学習施設の拠点として必要な施設。</p>
イ. 市が実施する必要性	<p>■市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である</p> <p>市の施設であり、教育委員会が管理運営している。</p>
ウ. 事業の緊急性	<p>■緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない</p> <p>平成5年に開館して以来23年が経過しており、今後も生涯学習施設の拠点として運営するためにも、計画的な各種設備の更新・施設の改修等が必要。</p>
エ. 手段の適切性	<p>■適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある</p> <p>緊急性の高い物から計画的に実施。</p>
オ. 事業の公平性	<p>■公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある</p> <p>生涯学習施設の拠点として市民が利用しやすい施設を運営するための事業。</p>
カ. 事業の有効性	<p>■本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない</p> <p>開館後、23年が経過した施設ではあるが、計画的な整備の成果により多くの市民に活用されている。</p>

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<p>【速やかに実施】</p> <p>重点プロジェクト事業につき速やかに事業推進されたい。</p>
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<p>■計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する</p> <p>計画的に整備を実施していくが、突発的な緊急性の高い物に対しては、整備計画の検討・修正等の見直しを行い、市民がいつでも生涯学習施設の拠点として利用できる施設機能維持を図る。</p>

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	総合文化会館(事業担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	根室市総合文化会館所蔵美術展	事業番号	12528

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-9	歴史・芸術文化の振興
	施策目標	歴史や芸術文化などに親しみ歴史・文化資源を未来へ継承するまち	

2 事務事業の目的

目的	市民がいつでも文化・芸術活動等、生涯学習施設の拠点として利用できる施設機能維持を図るため。
成果	創作活動に対する興味・関心の高揚、創作活動の活性化が期待される。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	根室市総合文化会館所蔵美術展の開催						
	28							
	29							
	30							
	31	根室市総合文化会館所蔵美術展の開催						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		67				67	134
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		67				67	134
	人員(人工)		0.08				0.08	
職員費(人員×8,081千円)		646				646	1,292	
総事業費		713				713	1,426	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	所蔵美術展の開催	1回	1回	1回
	所蔵美術展来場者数	250人	250人	250人

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	創作活動に対する興味・関心の高揚、創作活動の底辺拡大。
-------------------	-----------------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 総合文化会館で所蔵している作品の展示希望は多い。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市所蔵の作品であるため。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 事業の性質から、緊急性はない。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 事業の性質から、現状として妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 作品の展示について、他の場所等はなく、概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 入場者253名、アンケートの回答も一定程度あり、有効性はある。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 事業完了につき、特記事項なし。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	公民館(事業担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	芸術文化促進交流事業	事業番号	12538

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-9	歴史・芸術文化の振興
	施策目標	歴史や芸術文化などに親しみ歴史・文化資源を未来へ継承するまち	

2 事務事業の目的

目的	次代を担う児童の豊かな感性を育むために、芸術文化を理解し大切にすることを目的として、舞台芸術の鑑賞機会の拡充するとともに、舞台出演者などとの交流により、より充実した機会提供について促進を図る。
成果	劇団による公演開催と併せて、劇団の出演者や関係者から舞台上の話や開催に向けての情報交流が図られた。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要					
	27	劇団による公演開催と市民と劇団員の交流会実施(事業完了)					
	28						
	29						
	30						
	31						

		(単位:千円)	H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
事業費と内訳	事業費		852					852
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他		102				102
		一般財源		750				750
	人員(人工)		0.16					
	職員費(人員×8,081千円)		1,293				1,293	
	総事業費		2,145				2,145	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
	合計/年							

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	交流会の開催件数	(未実施)	1回	
	交流会参加人数	(未実施)	90人	

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	根室市民と劇団員の交流を深め、根室市の芸術文化の促進を図る。
-------------------	--------------------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 公演開催機会の都度、ニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 事業の性質から市が実施すべきである。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 事業の性質から緊急性はない。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 各関係団体・関係者を集った交流会の開催は、現状として妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 各関係団体・関係者をの集ったものであるため、概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 根室市民と劇団員の交流が深まり、根室市の芸術文化の促進が図られた。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 事業完了につき、特記事項なし。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する

作成年度

平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	公民館(事業担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	みらいのアーティスト応援事業	事業番号	12357

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-9	歴史・芸術文化の振興
	施策目標	歴史や芸術文化などに親しみ歴史・文化資源を未来へ継承するまち	

2 事務事業の目的

目的	市民がいつでも文化・芸術活動等、生涯学習施設の拠点として利用できる施設機能維持を図るため。
成果	全道・全国大会参加に伴う児童・生徒のレベル向上を図る一助として。また、遠征費補助により全道大会以上の大会参加機会が拡充される。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	文化分野において全道・全国大会に参加する小学生から高等生までの児童・生徒の遠征費の負担軽減を図り、大会参加を支援する。						
	28	文化分野において全道・全国大会に参加する小学生から高等生までの児童・生徒の遠征費の負担軽減を図り、大会参加を支援する。						
	29	文化分野において全道・全国大会に参加する小学生から高等生までの児童・生徒の遠征費の負担軽減を図り、大会参加を支援する。						
	30	文化分野において全道・全国大会に参加する小学生から高等生までの児童・生徒の遠征費の負担軽減を図り、大会参加を支援する。						
	31	文化分野において全道・全国大会に参加する小学生から高等生までの児童・生徒の遠征費の負担軽減を図り、大会参加を支援する。						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		87	100	100	100	100	487
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他	87	100	100	100	100	487
	一般財源							
	人員(人工)		0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	
職員費(人員×8,081千円)		646	646	646	646	646	3,230	
総事業費		733	746	746	746	746	3,717	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
		みらいのアーティスト補助交付件数	1件	3件
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	児童・生徒の大会遠征費の負担軽減。
-------------------	-------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはあまりない 年1件程度のニーズがある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 事業の性質から市が実施すべきである。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 事業の性質から緊急性はない。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 大会等参加への機会拡充のため、遠征費の補助していることから、適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 周知のうえ利用者を募っているため、公平である。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 児童・生徒の遠征費の負担軽減という点で有効性が高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 本事業の目的において、大会等参加に伴う旅費の補助であるとしているが、概ね5年以降を目処に、事業の趣旨を再確認するべきであり、本来の趣旨であるみらいの文化人を育成するという観点に立った事業の見直しを検討されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 文化分野の裾野を広げる活動として、全道大会等への参加支援のため実施する。

作成年度

平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	総合文化会館(事業担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	総合文化会館事業協会補助事業	事業番号	11603

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-9	歴史・芸術文化の振興
	施策目標	歴史や芸術文化などに親しみ歴史・文化資源を未来へ継承するまち	

2 事務事業の目的

目的	市民がいつでも文化・芸術活動等、生涯学習施設の拠点として利用できる施設機能維持を図るため。
成果	様々なジャンルの優れた作品を招致し、鑑賞機会の充実を図り提供することにより、多くの市民が文化、芸術に親しみ、心豊かな市民生活が期待される。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	「さかなくんキョキョ」とびっくりおさかなの話」・「氣志團LIVE」・「南こうせつwithウーファン～心のうたコンサート」の開催						
	28	「ミュージカル アリス」・「鈴木雅之コンサート」・「北海道歌旅座 昭和ノスタルジアコンサート」の開催						
	29	未定						
	30	未定						
	31	未定						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000
	人員(人工)		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
職員費(人員×8,081千円)		4,041	4,041	4,041	4,041	4,041	20,205	
総事業費		9,041	9,041	9,041	9,041	9,041	45,205	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	コンサート・舞台芸術等の開催数	3回	3回	3回
	事業協会主催コンサート・舞台等の入場者数	2,100人	2,100人	2,100人

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	優れた作品の鑑賞機会の充実。
-------------------	----------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 一定程度の入場者数がある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 広く市民に鑑賞の機会を提供する観点から市が補助すべきである。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 事業の性質上緊急性はない。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある コンサートや舞台芸術の選択にあたっては、根室市総合文化会館事業協会内で協議され決定している。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある コンサートや舞台芸術の選択にあたっては、根室市総合文化会館事業協会内で公平に協議され決定している。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 本格的な舞台芸術等の作品を市民に提供できることは、事業目的からみて有効性が高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 引き続きより多くの市民が親しむことのできるよう事業を進められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 市民への鑑賞機会提供のため継続して実施する。

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	歴史と自然の資料館	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	史跡等文化財博物館活動推進事業	事業番号	12410

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-9	歴史・芸術文化の振興
	施策目標	歴史や芸術文化などに親しみ歴史・文化資源を未来へ継承するまち	

2 事務事業の目的

目的	日本百名城に選定された国指定史跡「根室半島チャシ跡群」を訪れる市民や観光客が急増してきたため、史跡の保存と有効活用として、これまで誘導看板、資料館展示室の改修、サテライト展示等の整備をはじめ、史跡の草刈等を実施してきたが、今後も一層の来訪者が見込まれるため、適切な史跡めぐりができるよう関係機関と連携し、学習環境を整備する。
成果	根室半島チャシ跡群のうち、積極的に公開しているヲネモトチャシ跡、ノツカマフチャシ跡と、その他史跡を有機的に結びつけ、歴史と自然の資料館とのルート化を確立することによって、観光客の受け入れなど、観光サイドとの連携強化が期待される。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
		27	ノツカマフチャシ跡の簡易駐車場の整備 史跡標柱看板等の更新/企画展の開催 ねむろマチカドミュージアムの更新					
	28	史跡標柱看板等の新設及び更新 根室マチカドミュージアムの更新/企画展の開催						
	29	史跡標柱看板等の新設及び更新 根室マチカドミュージアムの更新・企画展の開催						
	30	史跡標柱看板等の新設及び更新 根室マチカドミュージアムの更新・企画展の開催						
	31	史跡標柱看板等の新設及び更新 根室マチカドミュージアムの更新・企画展の開催						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		962	465	102	2,175	465	4,169
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		962	465	102	2,175	465	4,169
	人員(人工)		0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.85
職員費(人員×8,081千円)		1,374	1,374	1,374	1,374	1,374	6,870	
総事業費		2,336	1,839	1,476	3,549	1,839	11,039	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	歴史と自然の資料館の来館者数		1,797人	2,500人
根室半島チャシ跡群の来訪者		930人	1,500人	2,000人

**事務事業改善策
(継続事業のみ記入)**

根室半島チャシ跡群の学習環境整備については、現地及び資料館内でも必要最低限の整備がされたため、それ以外の魅力ある史跡の情報発信を展開し、より滞在時間の長いルート化を目指す。

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の「ふるさと根室」の歴史と自然に関する関心が高まる。 ・観光客等の交流人口の拡大で根室に訪れる方が増加することにより、地元経済への波及効果が大きくなる。
--------------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<p>■かなりのニーズがある □ニーズはある □ニーズはあまりない</p> <p>根室の歴史や自然を再認識する市民が増えつつある。</p>
イ. 市が実施する必要性	<p>■市が実施すべきである □市の実施について検討の余地あり □市以外で実施可能である</p> <p>文化財の保護、活用は市あるいは教育委員会が市民協働のもとで主導する必要がある。</p>
ウ. 事業の緊急性	<p>□緊急性が高い ■緊急性はある □緊急性はない</p> <p>日本百名城をきっかけに、歴史を求めて訪れる観光客に対応する必要がある。</p>
エ. 手段の適切性	<p>■適切である □現状として妥当である □検討の可能性はある</p> <p>周知と環境整備に重きを置いた事業である。</p>
オ. 事業の公平性	<p>■公平性は高い □概ね公平である □改善の余地はある</p> <p>歴史と自然は市民にとっては共有の財産である。</p>
カ. 事業の有効性	<p>■本事業の有効性が高い □本事業の有効性がある □既存事業と大きな差はない</p> <p>事業の広がりにより、市民の「ふるさと根室」に対する愛着が増し、観光客にとっても根室にもっと親しむ機会が提供できる。</p>

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<p>【計画どおり実施】</p> <p>引き続き、資料館が所蔵する収蔵物や史跡等を有効活用し、学習環境の整備や魅力ある情報発信に努め、学習機会を増やすとともに交流人口の拡大を図りたい。</p>
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<p>■計画どおり着手が適当 □再検討し実施する □着手を延期する</p> <p>史跡標柱等の適切な管理並びにマチカドミュージアムを定期的に更新し、多くの市民や観光客等に根室市の歴史に触れることができる機会を提供し、学習機会の提供と交流人口の拡大に努める。</p>

作成年度 平成27年度